

9012

第五期 臨水左岸地區第五八軍ニ對スル會戰

自昭和一七、七、一
至昭和一七、七、二二

298

1582

七月一日雨後曇

一 部隊主力ハ徹宵ノ夜行軍ニ依リ宜黄西北
 及黄土峯附近ニ兵力ノ集結完了ヲ見タルハ
 本朝ハ四ハナリ
 一 四四部隊ハ現集結地ニ於テ戦力ヲ整備
 シ次期作戰ヲ準備スベキ旅團命令(幸一電第
 一八一號ニ接シ爾後ノ行動ヲ準備ス
 第二大隊八一三ハ頃黄破橋(宜黄西北附近
 ニ追及集結セリ
 朝來ノ濛雨ニ依リ河川氾濫甚シク午後ニ到
 リ黄破橋ノ通過困難トナリ宜黄西北側ニ集
 結シアル部隊トシテ連絡ハ遂ニ杜絶ノ止ムナリ
 キ状態ニ立至レリ

299

5

1583

七月二日曇天

敵第五十八軍ハ新編第十師ヲ以テ秀才塚白
 陂集仁西北ハ料ノ線ニ配備ヲ變更シ集仁方
 向ニ對シ警戒シアルモノ如ク旅團ハ三日
 以後隨時攻勢ニ轉シ得ル如ク集結地ハ推
 シ企圖シ柴田新隊ハ本日朝行動ヲ開始シ
 黃坊羅家橋紅石門ノ間ニ集結スベキ電命ヲ
 受ケ七〇〇歩兵八隊命甲第九五三號ヲ下
 達シ第一大隊ヲ前衛トナシ一〇〇〇集結地
 出發一八三〇第一大隊ハ羅家橋第二大隊及
 野砲兵第六中隊歩兵砲中隊速射砲中隊衛生
 隊ハ黃坊ニ爾餘ノ主力ハ橋頭附近ニ兵力ヲ
 集結ス

井鍋隊ハ潭坊ニ殘置後未ダ追及セズ
 第三大隊ハ去ル三十日一一三ヨ宜黄北側
 通過西進後極力無電連絡ヲナセルモ遂ニ連
 絡シ得ズ
 本二日下達セル命令左記ノ如シ

歩六八依命甲第九五三號

柴田部隊命令

一 當面ノ敵ハ遠ク西南方ニ潰走シ黄^七ニ^上コ^セル^タル^ルヲ
 邊ニハ若干ノ敗殘兵アルモ大ナルモノヲ
 見ズ

旅團ハ黄坊ヨリ浙湾北側附近ニ亘ル間ニ
 集結地ヲ推進ス
 二 新隊ハ黄坊羅家橋ノ地區ニ集結地ヲ推進

セントス

三、第一大隊(台欽)ハ前衛トナリ現宿營地出發
尨井ト黃坊ヨ經テ羅泉橋ニ向ヒ前進ス

出發ハ一〇ト予定スルモ別命ス

四、聯隊本部及其直轄部隊(RIA TA 台欽)ヨ

署スハ一〇ト現存地出發ハ左記行軍序列

ヨ以テ右縱隊本部トナリ前衛ト後方ヲ黃

坊ニ向ヒ前進スベシ

左記

第十一中隊主力

聯隊本部

第十一中隊

作業小隊

通信班
第二機関銃中隊

第三中隊ノ一小隊

五 第二大隊(聯隊)ノ一小隊
宿營地出發宜黄ノ前

縦隊トナリ一〇〇〇宿營地出發宜黄ノ前

山尾ノ紅石門ノ黄坊道ヲ黄坊ニ向テ前進

又步兵一小隊ヲ直ニ潭坊ニ派遣シ井鍋隊

ヲ黄坊ニ誘導セシムベシ

六 步兵砲速射砲中隊野砲兵第六中隊衛生隊

八 前進ニ方リ第二大隊長ノ區處ヲ受クベシ

七 予ハ本隊ノ先頭ニ在リテ前進ス

柴田 高 隊長
柴田 芳 三

下達法

要旨傳達後命令受領者ニ口達筆記セシム

歩六八旅命甲第九五四號

柴田部隊命令

檢一五二頭

一 部隊ハ葛坊一江下草家間ノ地區ニ兵力ヲ

集結シ明三日以後ノ行動ヲ準備セシトス

二 各隊ハ設營者ノ指示ニ依リ宿營シ爾後ノ

行動ヲ準備スベシ

三 各隊ハ左記ノ如ク分哨ヲ配置シ宿營地ノ

警戒ニ任セシムベシ

左記

第一大隊

宿營地北方高地

第二大隊

宿營地南方高地

第十中隊 宿營地 西南方高地

其ノ他各隊毎ニ直接警戒ヲ嚴ニスベシ

四 第二大隊長ハ宿營地到着ト同時ニ第十中

隊ヲ予ノ指揮ニ復歸セシムベシ

五 通信班長ハ聯隊本部ト旅團司令部及各大

隊本部間ノ通信連絡ニ任スベシ

六 部隊ハ現在地ニ於テ患者ヲ後送ス依而各

隊ハ後送患者ヲ聯隊本部ニ集合セシムハ

シ

七 第十一中隊長ハ患者後送ノ護衛トシテ一

分隊ヲ差出スハシ

八 予ハ橋頭ニ在リ

柴田新隊長 柴田芳三

下達法

五

300

七月三日晴天

命令受領者ニ口達筆記セシム

(一) 橋頭ニ在リテ爾後、行動ヲ準備中ナリシ節、
 隙ハ一ノ一ノ第五八軍攻撃ノ目的ヲ以テ、
 仁西北側羅冲灣附近ニ向ヒ前進スベキ旅團
 命令ニ接シ直ニ左記歩六八旅團第九五五
 號ヲ下達シ一三三ノ橋頭出發先ヅ貴橋附近
 ニ向ヒ前進ス此日暑熱酷烈ナリ加フルニ途
 由第六師團竹原支隊ト混淆シタルモ我が師
 隙主力ハ先行スルコトヲリ大ナル混淆テ
 夕日没頃豊破橋北側地區ニ到着シ得タリ

歩六八旅團第九五五號

柴田新殿命令
 一五八軍ハ六月三十日新編第十師ヲ以テ起
 振山平陰村白破ノ線ニ後退シ崇仁方同ニ
 對シ警戒セシメアルモノ如ク新編第十
 一師ハ依然三口南方地區ニ在ルモノ如ク
 シ師團ハ該敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ明四日
 夕迄ニ主力ヲ以テ崇仁附近ニ進出ス
 旅團ハ即刻行動ヲ開始シ明四日夕迄ニ北
 部崇仁西北側附近ニ進出シ五日未明ヨリ
 ノ攻撃前進ヲ準備ス
 二部隊ハ即刻現在地出發黄片ノ官倉前ノ豊
 坡橋ノ崇仁ノ羅沖湾(崇仁西北)約四軒道ヲ
 先ニ貫橋附近ニ前進セントス

六

303

13

1591

三 第十由隊(左久伊屬ハ先遣隊トナリ)即刻現
在地出發前記進路ヲ補修シツ、貫橋ニ向
ヒ前進スヘシ

四 第一大隊ハ前衛トナリ即刻現在地出發前
記進路ヲ貫橋ニ向ヒ前進スベシ
現在地ニ於テ無線分隊ヲ第二大隊ニ轉屬
スベシ

五 第三大隊(配屬如故)ハ依然崇仁ニ於テ待機
スベシ

六 爾餘ノ諸隊ハ即刻宿營地出發橋頭ニ集合
ノ後左記行軍序列ヲ以テ前衛ノ後方ヲ負
橋附近ニ向ヒ前進スベシ
現在地出發時刻ハ後命ス
左記

第十一中隊主力
 第十一中隊本部
 第十一中隊
 第十一中隊
 通信班
 步兵砲中隊
 速射砲中隊
 野砲兵第六中隊
 衛生隊十二分
 聯隊小行李
 第三大隊小行李
 兵器勤務隊
 第二大隊
 各隊ハ即刻設營者ヲ差出シ三輪中尉ノ指
 揮ニ入ラシムルハシ

304

15

1593

(一)

之ニリ先々四一五井鍋隊ハ悪路ニ悩マサレ
 ツ、多大ノ辛苦ヲ嘗ク部隊集結地ニ到着シ
 曩ニ建昌ニリ水路輸送隊掩護トシテ衆家渡
 到リシ宮脇隊亦杉浦進尉以下ニ六名ノ追及
 音ト共ニ入ニ到著セリ

ム 要旨傳達後命令受領者ニ口違筆記セシ
 下違法

ハ三輪中尉ハ各隊設営者ヲ指揮シ貫橋附近
 ニ前進シ部隊ノ設営ニ任ズベシ
 九予ハ暫ク現在地ニ在リ
 爾後部隊ノ先頭ニ在リテ前進ス
 柴田新隊長 柴田芳三

(三)

部隊ハ二〇〇〇〇禮殿橋以北貫橋ニ亘ル間
 宿營シ翌四日行動ヲ準備ス
 但シ第二大隊ハ官倉前附近ニ於テ宣黄ヨリ
 前進シ來レルル所支隊ト行動交又シ爲ニ集
 結地到着ハ翌四日未明ニ及バリ
 集結並ニ明四日ノ前進ニ関スル命令左記
 如シ

歩六八隊命令第九五六號

柴田部隊命令

- 一 部隊ハ本夜現在地附近ニ兵刃ヲ集結シ明
- 四日朝仁北方地區へ前進ヲ準備セントス
- 二 各隊ハ該營者ノ指示スル地區ニ宿營シ爾
- 後ノ行動ヲ準備スベシ

305

1

1595

三 本夜ノ警戒ハ各隊毎ニ直接警戒ヲ嚴メシムベシ

四 本夜ノ給養ハ携帶糧秣ニヨルベシ

五 予ハ井山ニ在リ

柴田 部隊長 柴田 芳三

下違法

要旨口達後命令受領者ニ口達筆記セシム

歩大八作命甲第九五七號

柴田 部隊命令

一 部隊ハ明日日五三〇現在地出發 崇仁北

二 側地區ニ向ヒ前進セントス

三 第一大隊ハ五〇〇宿營地出發先々北部

崇仁ニ向ヒ前進スベシ

尚先遣隊ノ第十中隊ノ前進ヲ區度

三 爾餘ノ諸隊ハ本三日ト同様行進序列ヲ以

テハ四ニ口迄ニ本道ニ集合後第一大隊

ヲ崇仁北側地區ニ向ヒ前進スバシ

四 各隊ハ明日朝晝食ヲ携行スバシ

五 予ハ口四ニ口部隊集合場ニ在リ

柴田部隊長 柴田芳三

不達法

要旨尊達後命令受領者ニ口達筆記セシ

七月四日晴天

一 部隊ハ口九三口崇仁ニ到着該地ニ於テ大擧

九

部隊ヲ掌握一割兵力ヲ旅團直轄ヲラシメ小
 休止後三山馬坑楓樹背羅冲湾ノ地區ニ兵
 力ヲ集結シ明五日早朝ヨリノ攻撃ヲ準備ス
 此日赤炎熱甚シ又歩兵第六聯隊ノ全力ハ其
 集結位置ヲ誤リ我部隊集結地ニ既ニ到着シ
 我部隊ノ集結ヲ阻害セルコト大ナルモ、ア
 リキ
 部隊本部ハ楓樹背ニ位置ス

歩六八作命甲第九五八號

柴田部隊命令

七
 柴田一〇三
 七

一 部隊ハ現在地ニ於テ一部兵力ヲ旅團直轄
 ヲラシメントス

二 第二大隊長ハ其歩兵一小隊ヲ第三大隊長

ハ步兵一中隊及機關銃一小隊ヲ失、現在
地ニ殘置シ、崇仁ニ於テ旅團直轄ヲラシム

三、予ハ崇仁ニ在リ

柴田部隊長 柴田芳三

下達法

要旨下達後命令受領者ニ口達筆記セシ

歩六依命甲第九五九號

柴田部隊命令

崇仁北側高地

一、敵情其後変化ナシ
二、部隊ハ前泊シ横溪間ノ地區ニ兵力ヲ集結
シ明五日早朝ヨリノ攻撃ヲ準備セントス

307

三 各隊ハ設營者ノ指示スル地區ニ兵カヲ集
 結シ明五日早朝ヨリノ攻撃ヲ準備スベシ
 四 現在地ニ於テ第十一中隊ヲ原所屬ニ復歸
 セシム
 五 野砲第六中隊ハ予ノ直轄ヲ解ク依テ本屬
 大隊長ノ指揮ニ入ルベシ
 六 歩兵砲中隊ヲ現在地ニ於テ第一大隊ニ配
 屬ス
 七 第三大隊長ハ現在地ニ於テ野砲兵第二大
 隊ヲ予ノ直轄ニ復歸セシムベシ
 八 第二大隊長ハ配屬中ノ無線令隊ヲ現在地
 ニ於テ第一大隊ニ轉屬スベシ
 九 本夜ノ警戒ハ各大隊毎ニ四周ニ對シ嚴正
 實施スルベシ

通信班長ハ聯隊本部ト旅團司令部及...

二本夜、給養ハ携帶糧秣ニヨルバシ...

柴田部隊長 柴田芳三

命令受領者ニ口達筆記セシム

(二) 一七〇〇左記歩六八作命甲第九六〇號...

歩六八作命甲第九六〇號

柴田部隊命令

一五八軍ノ情況其後大ナル變化ヲ...

308

1601

近日來敵飛行機、行動若發トナル
 旅團ハ明五、日未明寺下羅沖灣線ヲ出發
 主力ヲ以テ崇仁、青石橋、赤木、檜道ヲ一
 部ヲ以テ羅沖灣、三山、宿、平陰、村、樹木
 橋道ニ沿テ地區ヲ所在、敵ヲ擊破シ、
 橋東附近ニ向テ突進ス
 一部隊ハ明四、日未明現宿營地出發所在、敵
 ヲ擊破シ、
 陰村、古村、上、頭、上、洛、湖、橋、上、五、麻、坊、上、橋、東
 道ニ沿テ地區ヲ橋東附近ニ向テ突進ス
 トス
 重信部隊ハ寺下、青石橋、上、徐家、上、赤木、準
 橋東道ニ沿テ地區ヲ攻撃前進ス
 竹原支隊ハ部隊ノ左ヲ江上、上、白波、上、羅山

西側道ニ沿ッ地区ヲ斷團ノ攻撃ニ策應シ

ツ、前進スル筈

三 第一大隊ハ先遣隊トナリ明五日ヨ三ヨ

宿營地出發前記高隊ノ進路ヲ所在ノ敵ヲ

撃破シツ、橋東ニ向ヒ前進スベシ

四 第三大隊(五屬)ハ前衛トナリ明五日ヨ四ヨ

宿營地出發所在ノ敵ニ撃破シツ、先遣

隊ノ進路ヲ橋東ニ向ヒ前進スベシ

五 爾餘ノ諸隊ハ本隊トナリ明五日ヨ三ヨ

楓樹背北側附近ニ集合シタル後左記行軍

序列ヲ以テ前衛ノ後方ヲ續行スヘシ

但シ出發ハヨ三ヨ四ヨト豫定スルモ別命ス

九 記

第十中隊(小隊欽)

第六 伊藤 獸醫 務 准尉 八 聯隊 本 部 及 第 二 大 隊
 大 小 行 李 ヲ 併 七 指 揮 ス ベ シ 戰 闘 地 域 ノ 境 界 尤 ノ 如
 重 信 部 隊 上 八 九 三 屬
 重 信 部 隊 上 部 隊 間
 聯 隊 本 部 及 第 二 大 隊 亦 行 李
 第 二 大 隊
 兵 器 勤 務 隊
 衛 生 隊 (十 二 分 隊)
 速 射 砲 中 隊
 通 信 班
 作 業 小 隊
 第 十 中 隊 一 小 隊
 聯 隊 本 部

寺下―張家―張田―瑞峯山―張家―
梅風山

部隊―竹原支隊間

峯土―王山古屯―王家ヲ達ヌル線

各隊ハ明五朝食ヲ終了ニ辨當ニ食分擔

行マバシ

楓樹背ニ在リ

明五曰ヨ三三々楓樹背北側爾後本隊先

頭ニ在リテ前進ス

柴田部隊長 柴田芳三

下達法

要旨下達後命令受領者ニ口達筆託シ

七月五日 晴 天

注意

敵飛行機ノ出撃ヲ予想セラルルヲ以テ對空處置ニ遺憾ヲ感スルヲ期スベシ
 火暑急激ニ加フル行軍間喝病予防ニ萬全ヲ期スベシ

(一) 本早朝敵第五十八軍撃滅ヲ期シ行動ヲ開始セル
 七ル 隊ハ第一大隊(步兵砲中隊)作業小隊(馬車先遣隊)ヲシテ三山宿ヲ出發爾餘ノ主力ハ第三大隊ヲ前衛トナシ同日三山宿夫々其ノ宿營地出發先ヅ鷓鴣山大嶺峯ノ羅山ニ至リ據ル敵ヲ撃滅スバク曉天ヲ衝キ肅々前進ス

是ヨリ翼先遣隊ハ第一大隊ハ四日午後
 一部第三中隊及機關銃一小隊ヲ先遣
 上ノ要點タル南坑西南側高地鞍部
 命ジ侍ヒテ前面ノ敵情ヲ搜索セシム
 該隊ハ口ニ鞍部附近ニ於テ輕機ヲ荷ス
 ル約五口ノ敵襲ヲ以テ驅逐シ部隊主力尙後
 ノ進出及展開ノ爲有利ナル地步ヲ獲得セリ
 斯クテ五日未明先遣隊先ツ南坑西南側高地
 二邊シ攻撃ノ重點ヲ道路西側地區ニ指向シ
 南坑周坊西側高地ノ敵ヲ攻撃逐次之ヲ壓迫
 早クモ口ハ二口頃周坊西側高地ニ進出シ該
 地附近ニ狼敗混乱シアル敵ヲ攻撃中ナリ
 此ノ時本隊ノ先頭ニアリテ前進中ナリシ隊
 隊長ハ挺身高級副官ヲ伴ヒ前衛ノ先頭ニ至

311

然ルニ敵ハ更ニ後方我が砲兵協力困難ナル
 半部ヨ第一線中隙ノ自兵突撃ニ據リ攻略ス
 ヲ歩砲第一線ノ猛攻ニ依リ遂ニ敵ノ陣地ノ前
 山地ニ多ク大ノ困難ヲ冒シテ火砲ヲ展開セシ
 敵ハ抵抗セラルモ我が両第一線大隊ハ嶮峻ナル
 敵ヲ攻撃爾後平陰村西北高地ニ進出シ命ズ
 茲ニ於テ大隊長ハ第三大隊ヲ第一大隊ノ右
 要點ニ集中發揮ス
 戦意最モ旺盛ニシテ善ク地形ヲ利用シ地物ハ
 ヲ視察スルニ周坊東側ニ五五高地ニ登攀此ノ戦況
 リ南坑西南側ニ五五高地ニ登攀此ノ戦況

嶮要密林地帯ニ據リ歩々獲強ニ抵抗ヲ持續
 ス此處ニ於テ聯隊長ハ更ニ本隊ニ在リテ前進
 中ノ第一大隊ヲ第一大隊ノ左ニ戰鬪加入セ
 シメ一擧鷄壘山大崗岑ノ線ニ進出スベク決
 心スルト共ニ自ラ周坊ニ前進第二大隊ノ超
 越前進ヲ督促シ概テ第一大隊ノ展開ヲ終ル
 頃第一大隊ヨリ「大隊正面ノ敵ハ約一〇〇〇
 前面一帯ノ高地ニ陣地ヲ構築中ニシテ其ノ
 戰意侮リ難キ旨ノ報告アリ依テ聯隊長ハ決
 意軍旗ヲ奉ジ軍旗中隊タル第十中隊及次級
 副官書記其ノ他若干ノ人員ヲ率ヒ樹林ヲ縫
 ヒ嶮峻ヲ攀ル第一大隊本節位置ヲ索メテ前
 進鷄壘山南麓ニ於テ第一大隊ノ後方ヲ前進

五

中ノ第三大隊ニ追及シ大隊長ヨリ前面ノ敵
 情ヲ聴取スルト共ニ自ラ敵情地形ヲ觀察爾
 後隊隊ハ敵ノ配備状態ニ鑑ミ且又地形上攻
 撃比較的鷄籠山方向ヨリ山嶺傳ヒニ敵ノ左翼
 ヲ包圍席捲スルノ要ヲ認メ直ニ第三大隊ヲ
 シテ第一線大隊ノ攻撃ニ連繫シ其ノ右翼亦
 面ヨリ攻撃スベク命ズ此ノ頃敷々タル砲聲
 ハ谿谷ニ反響シ山采一帶ヲ震撼シアリ此ノ
 砲聲ハ第二大隊砲カ萬難ヲ排シ陣地ヲ嶮難
 ノ正中ニ索メ第一線ノ攻撃ニ協力セルモノ
 ナリ
 山地ハ愈々嶮峻錯雜樹木密生繁茂シ新隊ノ
 前進容易ナラザルノミナラズ我が砲兵火力

發揚ハ全ク不可能ナル状態ニモ拘ラズ第一
 線各隊ハ或ハ射撃シ或ハ突撃シ一山又一
 嶺肉迫以テ之ヲ奪取シ一七〇頃敵ノ中核
 陣地ヲル鷄籠山東西ノ線ニ進出ス
 此間第一第三大隊ニハ敵ノ狙撃ニ依ル戦傷
 者續出而部軍醫中尉亦傷然ルニ然谷深ク
 道路無ク樹木雜早繁茂シ傷者運搬ノ々々遂
 ニ歩兵一中隊ヲ要セリ
 是ヨリ先隊隊長ハ第一大隊位置ニ追及ス此
 ノ時第一大隊長ハ中隊長以下約五〇名ノ一
 中隊ヲ第三大隊隊長ハ松井中尉ノ指揮スル一
 中隊ヲ掌握シアルノミナリシモ引續キ前面
 ノ敵ヲ攻撃中ナリ
 此頃曾家北方及西方高地一帯ニハ有カナル

天

敵頑強ニ抵抗シ我ヲ猛射ス之カ爲第十一中
 隊長松井中尉ハ鷲雪竊東側高地ニ據ル敵ル
 敵ヲ攻撃中遂ニ壯烈ナル戦死ヲ遂ガ
 隊長ハ曾家村下背宿附近ニ新隊主力ヲ集
 結ヲ圖ルト共ニ岡坊附近ニ馱馬新隊ノ前進
 ヲ命シ且第一大隊ノ一部ヲ以テ平陰村北側
 高地ノ敵ヲ第一大隊ノ一部ヲ以テ背宿西側
 高地ノ敵ニ對シ夜襲ヲ命ズ
 第一線大隊ハ夜暗而モ未知ノ地形ニ於テ夜
 襲準備並ニ敵陣地近接ニ多大ノ困難ヲ冒シ
 ヲ四三ノ第一大隊ノ武藤中隊ハ鷲雪竊南側
 高地ヲ第一大隊加藤中隊亦同時頃背宿西側
 高地ヲ占領ス
 此ノ間馱馬新隊ハ嶮難ナル山徑ニ攀テ逐次

二 炉下附近ニ到着シ始ム

六月六日曇後雨

一 斯クシテ第一線大隊ノ果敢ナル攻撃ニ依リ
 拂曉迄ニ概テ曾我周辺高地帯ノ敵ヲ撃破潰
 乱セシメタルモ尚殘敵ハ大崗峯ニ在リテ執
 拘ナル抵抗ヲナシ殊ニ馱馬部隊ノ前進ヲ妨
 害シテルヨリ以テ第三大隊ノ一中隊(小池隊)以
 テ正午頃昨五日以來連絡シ得ガリシ旅團司
 令部ト初メテ無線連絡ヲナシ得タリ又馱馬
 部隊ノ大部モ集結ヨリ終レリ
 茲ニ於テ聯隊長ハ第一大隊ヲ依然先遣隊
 追撃セシメ爾餘ノ主力亦稍々之ニ遅レ先遣

此隊ノ進路ヲ橋東ニ向ヒ前進ス
此ノ間下達セル命令左記ノ如シ

歩八作命田第九六一號

柴田部隊命令

南坑南方五五高地

一 敵ハ南坑東南方高地及周坊而側高地並其
 西方高地上一帶ニ直地ヲ占領シテアリ
 先遣隊ハ南坑東南方標高ニ五〇五高地ノ
 敵ヲ夜襲ヲ以テ驅逐シ爾後南坑南側台上
 ヲ攻撃前進中ナリ

二 部隊ハ直ニ當面ノ敵ヲ攻撃シ之ヲ擊滅シ
 以テ依然所命地點ニ向ヒ突進セシトス

三 第一大隊ハ引續キ當面ノ敵ヲ攻撃シ之ヲ
 擊破シツ、灣裡西側高地ニ進出シ引續キ

四

前任勢ヲ續行マヘシ
第三大隊ハ第一大隊ノ右ニ連繫シ南坑
北方一料標高ニ五七四高地及其以兩
敵ヲ攻撃シ平陰村西北側高地ニ進出ス

315

進出地點ニ於テ前衛ノ任務ヲ解ク
所命ノ線ニ進出後ハ水隊トナリ兵器勤務
隊ノ後方ヲ續行ス
尙岡坊ニ於テ野砲兵第二大隊ノ配屬ヲ解

37

五

予ハ暫ク現在地ニ在リ
爾後水隊ノ先頭ニ在リテ前進ス

柴田部隊長 柴田芳三
下達法

八

1615

要旨傳達後命令受領者ニ口達筆記セ

歩兵八隊命甲第九式ニ號

柴田部隊命令

一 第一、第三大隊ハ周坊西側高地附近ニ於

テ戦闘中ナリ

二 衛生隊ハ全刀ヲ以テ第一線大隊ノ患

者收容ニ任スベシ

三 予ハ暫ク周坊ニ在爾後第一大隊ノ後方

ニリ前進ス

柴田部隊長 柴田芳三

下達法

要旨下達後命令受領者ニ口達筆記セ

シム

歩六依命甲第九六三號

柴田部隊命令

三五官一ルハ殿

316

30

一、村カナル敵ハ冬後及湾裡西方高地三五官一ルハ殿一帯ニ
 陣地ヲ占領シ逐次敗走部隊ヲ收容シツ、
 頑強ニ抵抗シツ、アリ
 二、前隊ハ夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シ當面ノ敵
 ヲ撃滅セントス
 三、第一大隊ハ夜ニ入ルト共ニ一部ヲ以テ冬
 後ヲ夜襲ヲ以テ占領スルト共ニ依然攻撃
 ヲ續行スベシ
 四、第三大隊ハ夜ニ入ルト共ニ一部ヲ以テ湾
 裡西方高地ヲ夜襲ヲ以テ占領スルト共ニ

元

依然攻撃ヲ續行スベシ

五 第二大隊ハ逐次當面ノ敗敵ヲ掃滅シツ

炉下ノ田庄道ヲ前進シ爾後湾裡西北側高

地ヲ攻撃スベシ

六 野砲兵第二大隊(欠5)ハ速ニ炉下東北側高

地附近ニ前進シ明拂曉ヨリノ攻撃ニ當リ

第一線大隊ノ戦鬪ニ協同スベシ

七 爾余ノ諸隊ハ第一線大隊ノ戦鬪進捗ニ伴

ヒ第二大隊ノ後方ヲ前進スベシ

八 予ハ三官殿ニ在リ

柴田新隊長

柴田牙三

下違法

要旨下違後命令受領者ニ口達筆訖セシ

ム

歩兵八中隊第九六四號

柴田部隊命令

下北側高地

一 當面ノ敵ハ新編第十師ノ主力ニシテ昨旦

來ノ我猛攻撃ニヨリ逐次敗退ヲ續ケ主力

ハ拂曉以前西南方ニ退走シアルモノノ如

シ

二 部隊ハ速ニ殘敵ヲ掃蕩マルト共ニ現在地

附近ニ於テ態勢ヲ整理シ橋東ニ向ヒ敵ヲ

追撃セントス

三 工兵第十三聯隊ノ一部ヲ協力セシムラル

第一大隊(歩兵砲中隊)ノ配屬ヲ解キ作業小

隊ヲ屬スル依然先遣隊トナリ部隊ノ進路

ヲ所在ノ敵ヲ撃破シテ道路ノ補修並標

示ヲ實施シ橋東ニ向ヒ前進スベシ

シ

四、 現在地出發ノ時機ハ後命ス
 第二大隊(IA)ノ配屬ヲ解キ RIAヲ屬スハ爾後
 前衛トナリ先遣隊ノ後方ヲ橋東ニ向ヒ前
 進スベシ
 但出發ノ時機ハ後命ス
 五、 第三大隊(IIA)ヲ屬スハ後衛トナリ部隊主力
 ノ進路ヲ橋東ニ向ヒ前進スベシ
 六、 野砲兵第二大隊長ハ現在地ニ於テ第五中
 隊ヲ予ノ直轄タラシムルト共ニ主力ハ第
 二大隊長ノ指揮ニ入ルベシ
 七、 爾後ノ各隊ハ本隊トナリ左記行軍序列ヲ
 以テ前衛ノ後方ヲ續行スベシ
 第十中隊主力

下違法 柴田 部隊長 柴田 芳三
 先頭ニ在リニ前進ス
 予ハ暫ク現在地ニ在リ出發ニ當リ本隊ノ
 工兵第十三聯隊(示隊欠)
 小 行 李
 大 行 李
 兵器 勤 務 隊
 衛生隊 二分ノ一
 野砲兵第五中隊
 速射砲中隊
 通信班
 第十中隊
 第一小隊
 聯隊本部

要旨下達後命令受領者に口達筆記を

(二) 羅山々系突破戦々闘經過別紙要圖第十四ノ如シ

本戦線ニ於ケル所見

一 第一第三大隊長、嶮難ナル山系ニ據リ頑強

ニ抵抗スル敵ニ對シ部下ヲ督勵シツツ自兵

ヲ以テ逐次此ヲ攻略セル功績ハ甚大ナル

二 南坑西南側ニ五〇五高地攻撃ニ方リ第十

二中隊長松井中尉ノ攻撃ハ周到且果敢ニ

三 本攻撃戦闘間最モ壯烈ナルモノニシテ今

七
三
八
百
ナ
リ

高地ノ奪取ニ依リ初メテ聯隊馱馬部隊ニ
 坊附近ニ推進集結スルヲ得タリ
 野砲兵第二大隊長大尉西吉之助ハ南坑西南
 側ニ五〇五高地攻撃支援ヲ命ジラルヤ
 峻ナル山頂ニ陣地ヲ占領シ適確ナル射撃ヲ
 以テ松井中隊ヲ攻撃シ援助シ之ハ山地占領
 容易ナラシメタリ
 四 聯隊旗手小尉池川淳彦ハ此日積極有利ナル
 意見具申ヲ屢々行ヒ聯隊長ノ戦鬪指導ヲ益
 スルコト大ナルモノアリ
 五 次級副官中尉加藤吉正ハ同坑ニ發置セル馱
 馬部隊ト連絡手段無キニ至ルヤ無線ヲ有
 シタルモ通セズ兵若干ト共ニ敢て兵多ク耳
 道ヲ蟻難ハ山下リ聯隊長ノ命令ヲ傳達

(三) 部隊ハ主力ヲ以テ一ノ橋東ニ到ル
 歩六八夜命甲第九六五號
 カヲ集結ス

歩六八夜命甲第九六五號

柴田部隊命令

- 一 部隊正面ノ敵ハ既ニ潰乱セルモ如ク
- 旅團主力ハ橋東東西ノ線ニ進出シ
- 二 部隊ハ本夜現在地附近ニ兵力ヲ集結シ
- 後ノ行動ヲ準備セシム
- 三 各隊ハ設營者ノ指示スル地域ニ宿營シ
- 後ノ行動ヲ準備スベシ
- 四 宿營地ノ警戒ハ各隊毎ニ嚴ニ實施ス
- 五 本夜ノ給養ハ携帶糧秣ニ依ルベシ

321

47

1625

六子八橋東三在

柴田部隊長

柴田才三

下違法

要旨下違後命令受領者三口違筆託

七月七日晴時小雨

一 部隊、集結地、橋東北側ニ推進、爾後、行

動ニ準備

下違七七命令左記、如

廿八夜命甲第九六號

柴田部隊長命令

橋七七八

一 部隊、集結地、橋東北、方、鶴、湖、水、坑、徐